

LOOP 2126 ∞prelude∞

メディアパートナーご提案資料

LOOP 2126
∞prelude∞

2026年4月25日（土）



開催場所：新宿・歌舞伎町

昼夜の部 KABUKICHO TOWER STAGE
昼夜の部 ZEROTOKYO

100年後の世界へ、歌舞け

ご挨拶

IYS株式会社は、2026年4月25日（土）に新宿・歌舞伎町にて、
体験型サイエンスフィクション・フェス「LOOP 2126 ∞prelude∞」を開催いたします。

本イベントは、「100年後の世界へ、歌舞け！」をテーマに、未来を予測するのではなく、想像し、選択し、創造していくものとして捉え直すことを目的としたフェスティバルです。映像、音楽、光、都市空間、インタラクティブアート、AI表現が交差する多層的な体験を通して、参加者一人ひとりが未来を考える主体となる場を創出します。

会場となる新宿・歌舞伎町は、世界のサイエンスフィクション表現にも影響を与えてきた、日本を象徴する都市空間です。この街そのものを舞台に、昼と夜の二部構成でプログラムを展開することで、都市、文化、テクノロジーといった複数の視点から捉えることが可能な企画構造としています。

本イベントは、2026年秋以降に開催予定の本フェス「LOOP∞Fest2026」へつながるプレイイベントとして位置づけられています。このたび、本企画の開催趣旨にご賛同いただける報道機関の皆さまを対象に、公式メディアパートナーを募集する運びとなりました。

未来を想像し、社会と共有するための場として、本企画の試みをより広く届けていくために、メディアパートナーとしてのお力添えを賜れましたら幸いです。

IYS株式会社 運営事務局

体験型サイエンスフィクション・フェス「LOOP 2126 ∞prelude∞」

■イベント概要(<https://www.loop8fest.com/>)

会場となる新宿・歌舞伎町は、ネオンと混沌が共存する日本を象徴する都市空間として、世界のサイエンスフィクション表現にも大きな影響を与えてきました。日常と非日常、現実とフィクションが交錯するこの街そのものを舞台に、本イベントでは、映像、音楽、光、都市空間、インタラクティブアート、AI表現などを組み合わせた多層的な体験を展開します。

都市の中を歩き、空間に身を置きながら未来像と向き合うことで、参加者はサイエンスフィクションを鑑賞するのではなく、体験として捉えることになります。歌舞伎町という都市の特性を生かし、時間帯によって異なる表情を見せるプログラム構成により、一日を通して未来への想像が深まっていく設計としています。

■開催概要

- イベント名: LOOP 2126 ∞prelude∞(ループ ニイイチニイロク プレリュード)
- 開催日: 2026年4月25日(土)
- 開催時間: 昼の部／夜の部(二部構成)※詳細な時間は後日、公式サイトにて発表予定
- 開催場所: 東京都新宿区 歌舞伎町エリア一帯 東急歌舞伎町タワー ほか ※一部プログラムは ZEROTOKYOにて実施予定
- オフィシャルサイト: <https://www.loop8fest.com/>
- 主催: IYS株式会社



KABUKICHO TOWER VISION / KABUKICHO TOWER STAGE / シネシティ広場



ZEROTOKYO

なぜ新宿・歌舞伎町で行うのか？

新宿・歌舞伎町は、戦後復興の過程において「興行街実現」という構想のもと、映画館や劇場、演芸場などが集積するエンターテインメントの街として形成されてきました。現在の歌舞伎町シネマシティ広場周辺は、そうした劇場街の原型から発展し、時代とともに表現のかたちを更新し続けてきた場所です。※

日本におけるエンターテインメント文化の変遷を体現してきたこの街は、現在では海外から見ても象徴的な都市空間のひとつとして認識されています。

また、2026年は昭和100年という節目の年にあたります。今生まれた子どもが100年後も生きている可能性があるという時間軸は、未来を抽象的な話ではなく、自分たちの延長線上にあるものとして捉え直す視点を与えてくれます。

エンターテインメントの中心地として歴史を重ねてきた都市空間の中で100年後の世界に思いを馳せる。その試みを行う場として、歌舞伎町はふさわしい場所であると考え、今回の開催地に選定しました。



※出典：歌舞伎町商店街振興組合「歌舞伎町オフィシャルポータルサイト」(<http://www.kabukicho.or.jp/history.php?lang=jp>)

公式メディアパートナー様にお願いしたいこと

■ご依頼内容

「LOOP 2126 ~prelude~」に関し、開催当日を中心に、**1本以上の記事でのご紹介**をお願いいたします。

- 開催前には、イベントのコンセプトや企画背景、オープンコールの取り組みなど。開催当日には、歌舞伎町の都市空間を舞台とした体験やプログラムの様子などを、お取り上げいただくことを想定しています。
- ご掲載後は、紙媒体の場合は記事原本、Web媒体の場合は掲載URLをお知らせいただけましたら、公式サイトや公式SNS等にてご紹介させていただきます。

※開催当日の記事については、可能な限り現地でのご取材をお願いいたします。日程が合わず難しい場合には、主催側が提供する画像素材等をご活用いただく形でも構いません。※チケットプレゼントやオフィシャルグッズ等の記念品の贈呈も予定しております。

■ご参加特典

①【報道向け情報の先行共有】

プレスリリースや関連情報については、情報解禁日時を指定のうえ、事前に共有させていただく予定です。

②【貴媒体ロゴ・貴媒体名の掲出】

公式メディアパートナーとして、当日の大型ビジョンやイベント関連の各種印刷物や公式サイト等に、貴媒体名またはロゴを掲出いたします。(例:パネル、チラシ他)

③【取材の優先アレンジ(オンライン・オフライン)】

開催前の事前取材や、開催当日のご取材について、オンライン・オフラインを問わず、主催事務局にて可能な範囲で優先的に調整・サポートいたします。

④【プレス向け取材導線のご案内】

開催当日には、会場内コンテンツやプログラムを効率的にご取材いただけるよう、公式メディアパートナー向けの取材導線やご案内を行う予定です。

お問い合わせ先

本企画やメディアパートナーに関するご質問、ご相談等がございましたら、下記お問い合わせ先までお気軽にお知らせください。

IYS株式会社

磯貝 誠 (TEL: 03-6426-0938)

原島 美保(TEL: 080-4353-1639 | Email:harashima@inmyshow.jp)